

福地集落「集落営農ビジョン」
(人材確保型支援 ・ 規模拡大・発展型支援)

※該当する支援メニューに○を記入

作成日：令和4年 3月 9日

修正日：令和 年 月 日

市町村名	八頭町	組織名	福地水稻生産組合
1 地区の範囲 八頭町 福地地区			
2 地区の概要			
水田面積 20.17ha	主な水田栽培作物 水稻	農家数 31戸	
認定農業者数 1経営体	人・農地プランの中心となる経営体数		2経営体
3 組織の概要			
設立時期 (規約等の制定日) 平成23年1月16日		経営面積 6.0ha	構成農家数 13戸
組織形態 (該当形態に○を記入) <input checked="" type="radio"/> 共同利用型 <input type="radio"/> 作業受託型 <input type="radio"/> 協業経営型			
役員の数・年齢 5人 (平均年齢 70歳)			
オペレーターの数・年齢 2人 (平均年齢 71歳)			
その他集落営農活動に参画している人数・年齢 13人 (平均年齢 68歳)			
4 集落営農に対する基本方針			
【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】			
<p>(1) 担い手の明確化及び水田利用集積目標 ※考え方 (担い手をどう育成し確保していくか。農地賃借、機械の共同利用、作業受委託、生産の組織化などについて。) 福地集落においては、高齢化等により耕作が困難な状況が生じてきている。このため、認定農業者を中心とした任意組織を設立し、組織代表者に農地集積を行い、機械の共同利用により水稻を中心とした農業経営を行っている。今後も、高齢化等によりリタイアする農家がでてくるため、農地の受け皿として任意組織の活動を充実させていく必要がある。</p>			
<p>(2) 水田の作付計画 (水稻以外の作物を含む)、活用方針・具体策 ※考え方 (今後伸ばしていく作物は何か。団地化・ブロックローテーション。作物の品質向上。) 当地域は任意組織を中心とした主食用米中心の栽培を行っており、今後も適正な管理による高品質な水稻栽培に努める。</p>			
<p>(3) 農業用機械施設の効率利用 ※考え方 (省力・低コスト化に向け、機械・施設をどのように有効利用していくか。今後整備が必要なもの、JAが整備している施設をどのようにするか。) 個人所有の機械により組織構成員の割り当てにより作業を行っているが、個人所有の機械も老朽化してきており、修理代金等の個人負担も大きくなってきている。今後は、本事業で導入する機械を主として作業を行い、効率的な運用と経費削減に努める。</p>			

(4) 人材の確保、後継者育成に関する方針

※考え方(新たな人材をどのように確保し、どのような方法で育成していくか。)
主となるオペレーターも高齢化してきているため、退職者の組織加入を推進し新たなオペレータの確保に努め、平日の作業員を確保する。

(5) 経営多角化の方針・具体策

※考え方(どのような手法で多角化を図るか。新規作物の導入、販路拡大に向けた自主的な取組みなどについて。)

【人材確保型支援は記入必須】

5 人材確保のための取組方針

【項目】		【実施年度】		
		○年度	○年度	○年度
人材 育成 研修	実務研修			
	免許取得			
	その他			
集落営農活動への参画				

【人材確保型支援(うち畦畔管理省力化支援)は記入必須】

6 畦畔管理の省力化のための取組

(1) グランドカバープランツ施工計画

施工場所:

施工対象面積(畦畔実面積): ha

本田(=水張)面積: ha

年数	内容	面積 (ha)	金額 (円)	実施年度
1年目				
2年目				
3年目				

注1) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

(2) 畦畔管理用機械導入計画
(機械利用対象畦畔面積

ha、本田 (=水張) 面積 ha)

機械施設名	規格能力	台数等	金額 (円)	導入予定年月

(3) 畦畔管理用作業の状況

内容	現状 (年度)	事業実施後 (年度)
取組対象 (予定) 面積 (ha)		
取組対象面積あたり年間 作業時間		

- 注 1) 取組対象圃場について記載すること。
2) 記入欄が不足するときは、適宜追加すること。

【規模拡大・発展型支援は記入必須】

7 集積 (経営、機械の共同利用及び作業受託) の目標

【項目】		【現状】	【目標】 6年度
農地 の 集積	集積面積 A	6.06 h a	9.44 h a
	対象水田面積 B	15.22 h a	15.22 h a
	集積率 A/B	40%	62%
	地区外集積面積 C	0.38 h a	0.38 h a
	経営面積 A + C	6.44 h a	9.82 h a
経営の多角化への取組			

注 1) 経営の多角化への取組は、該当する場合のみ記載すること。

8 農業用機械施設の整備方針
1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額 (円)	導入予定年月	本事業による 導入機械に○
乗用田植機 除草剤散布付	5条	1	2,100,000	令和4年5月	○

9 添付資料

- 人材確保型支援は研修計画一覧（参考様式）、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）を添付すること。
- 規模拡大・発展型支援は集積状況一覧（別表1、2）、機械の利用計画（別紙）、規約の写し及び計画の根拠が分かる資料（総会資料又はビジョン作成話合いの議事録等）を添付すること。

注1) 目標年度は、事業実施最終年度の翌年度から3年以内のいずれかの年度で設定すること。

2) 経営面積等の現状及び目標は、集積状況一覧（別表1、2）により作成すること。